



カラー版



し ょ く い く

食育つうしん

★毎月19日は食育の日です。

亀井小の給食のめあて「ありがとう」の気持ちで食べよう～給食を地球のごみにしない～

6年生 利子さんの願い(道徳)

スーパーや駄菓子屋で見かける、サクサクでほんのり甘い「ポン菓子」。実は、ポン菓子の機械を日本ではじめて作ったのは、八尾市の小学の先生でした。戦時中の食糧難で、栄養失調になっていく子どもたちと過ごしたその先生(利子さん)が、どんな願いを持ち、どのようにポン菓子機を作ったのか。6年生が、その思いと生き方について考えました。

びっくりしたのは、出来上がる前の「ボン」という音です。でも、その大きな音を聞きながら利子さんの気持ちを想像しました。子どもたちを助けるために、命をかけてやった行動からできたんだと思いました。(6年)

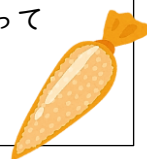
ポン菓子体験をして、当時の子どもたちがどれほど救われたのかと思いました。利子さんと協力してくれた人たちのおかげで、ポン菓子機ができました。利子さんの思いが、これからも多くの人に伝わればいいな。(6年)



▲ポン菓子を食べるのが初めての人もいました。(6年生)

ポン菓子屋さんに来校いただき、6年生は実演を見学した後、できたてのポン菓子を味わいました。ポン菓子は、戦争の逆境に負けず、平和を願い続けた八尾の女性が生んだ食べものです。

少しのお米が大量のポン菓子になっておどろきました。おいしくて、自然と笑顔になりました。戦時中の子ども達も笑顔になったのではないですか。利子さん、ポン菓子機を作ってくれたたくさんの子どもを笑顔にしてくれて、ありがとうございました。(6年)

こんげつ し ょ く い く
今月の食育

2年 道徳

「かむかむメニュー」

家庭科クラブ

「いもづるリース」 他



おすすめの本

「いとはんのポン菓子」

2023年「バケモンの涙」から改題
歌川たいじ(光文社)八尾市のHPで
紹介されています。

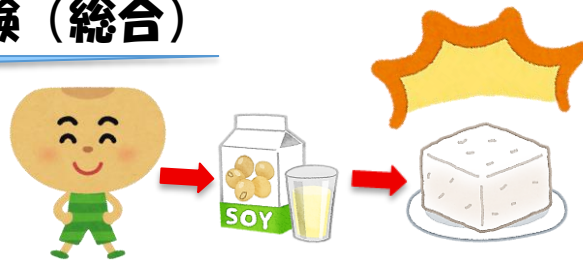
6年生が学習した「利子さんの願い」の教材は、この本をもとにした実話です。

3年生

で ま え じ ゅ ぎ ょ う
出前授業

と う づ く た い け ん
豆ふ作り体験 (総合)

こくご
国語で「すがたをかえる大豆」というたんげん
がくしゅう
学習した3年生が、
ねんせい
実際に豆腐作りをして、
じっさい
大豆
豆腐
が豆腐にすがたをかえるのをたいけん
体験しました。



豆ふ作りが始まった。ぼくは、とても楽しみにしていた豆ふ作りが始まって、うれしかった。

豆ふがかんせいして、みんな食べ始めた。とてもおいしそうだった。食べてみると、思ったとおりおいしかった。にがみのあとにあまみが追ってきて、とてもじょうずにできたなと思ううれしかった。とうとうなくなり、「ごちそうさま」を言う時に、ぼくはこう思っていた。「おいしかったよ、豆ふちゃん。」と。(3年)

か て い か
家庭科クラブ

いもづるでリース作り



1年生が育てたさつまいものつるを使って、家庭科クラブがリース作りをしています。
すてきなクリスマスリースやマクマクリースを体育館前に掲示します。